

「テレホン法話」
1200話達成記念

第15回



法話 早坂文明



ゲスト 津軽三味線
織江 響

伝える・続ける・繋がる



さわ
—法話とピアノで茶話やかに—



ピアノ 伊藤智哉



御詠歌 岡崎るみ子

テレホン法話

法話

- 「島田さん」
- 「皆勤賞」
- 「父の呟き」
- 「お召し物」
- 「蝶を追いかけて」
- 「良薬」
- 「お経がいい」
- 「サクラサク」

3分間心のティータイム

いつもは電話で聴いていた「テレホン法話」を
本堂でお茶を飲みながら 生で聴いてみませんか
伝えたいことがあります

続けてきたから伝わることもあります

伝わって人と人が繋がります

ピアノ演奏にのせて 抹香臭くない仏の教えを語ります

特別ゲストは 津軽三味線の織江響さん

華麗な演奏は 心に響きます

10/24(日)

午後2時

徳本寺
(山元町坂元)

入場無料

徳本寺テレホン法話

0223-38-1717

[問い合わせ]

0223-38-0320 徳本寺

<http://www.tokuhonji.jp/>

ミヤギのイナ イナ

●口上●

徳本寺では、電話で法話を聴くことができるテレホン法話を開設しております。34年間10日に1度(1日・11日・21日)話題を替えて休まず続けて、1200話を超えました。

この間心がけてきたことは、3つの「つ」です。「つたえる」「つづける」「つながる」ということです。お経だけでは、仏の教えを理解できかねることでしょう。噛み砕いて「伝える」手段として法話は必要です。更にいつでもどこからでも聴いていただけるように電話で発信してきました。

命日やお盆お彼岸が毎年巡ってくるからには、その都度、伝えることはあります。だから「続ける」意義があります。毎回同じ行事について伝えなければならないので、多少切り口を変えて、続けて聴いていただけるような工夫をしています。

長いこと続けていれば、いろんな出来事や出会いがあり、思わぬ人との繋がりができることもあります。東日本大震災に因んだ法話を聴いて、被災地に心を寄せてくださった方が何人もいます。見えない電波でも心は繋がることを実感しました。

そのテレホン法話を、電話ではなく直接本堂でお話するのが、テレホン法話ライブです。いくつかの特徴があります。

- ・話し手の顔が見えるので内容が伝わりやすい
- ・法話の背景や裏話など興味深い「本音トーク」が聴ける
- ・内容にふさわしいピアノ演奏が流れるので臨場感がある
- ・法話を補う映像や文言が映されるので理解しやすい
- ・法話に因んだ御詠歌のお唱えで仏の教えが心に沁みる

そのようなテレホン法話ライブですが、今年は15回目という節目に当たります。迷い多き日々を過ごしている私たちですが、今回は迷わずに法話ライブにご参加ください。「3分間心のティータイム」お茶の接待もあります。本堂という非日常の空間で、ゆったりとした気分でお過ごしください。

合掌

徳本寺住職 早坂文明

【織江 響(おりえ ひびき)プロフィール】

幼少の頃から和太鼓・津軽三味線・津軽手踊りを経験し、現在国内外で活躍。三弦小田島流師範。

津軽三味線全国大会「名古屋大会女性の部」「みちのく大会女性の部」で優勝。

本場青森の「日本一決定戦A級女性の部」で日本一。2020年「第7回びわ湖大会唄付け部門」で優勝。

手踊りでは、宗家石川流石川義梅会に属し団体の部で日本一。東京で開催された全国大会個人の部でも優勝。

「はがき一文字写経」

徳本寺の末寺である徳泉寺(笠野)は、大津波により伽藍・仏具等はすべて流出。

しかし、本尊さまだけは奇跡的に無事発見されました。

人々の支えになろうという一心で踏み止まった奇跡のご本尊を「一心本尊」と名付けました。

この本尊さまの下に、「はがき一文字写経」の納経(納経料:1口5千円)をお願いしております。写経された方には、無難無災をご祈禱した「一心本尊お守りカード」(金属製)を授与致します。また一文字は木札に印字され本堂内に奉納掲示されます。

NHKテレビ「ゆく年くる年」「ニュースウオッチ9」等で全国に紹介されました。

お申し込み:徳泉寺復興委員会 0223-38-0320

東日本大震災を語り継ぐテレホン法話集 3.11その先へ 3部作

- 第3集『千話一話』—テレホン法話千話記念— 1,000円
- 第2集『一歩先へ 二歩先へ』 1,000円
- 第1集『まっすぐに ただ、まっすぐに』 【完売】

10年間のテレホン法話ライブを紙上再現

- 『月を流さず』—和尚の語り草— 1,500円

徳泉寺復興誌

- 『青空があるじゃないか』 1,000円

【問い合わせ】 0223 - 38 - 0320 徳本寺